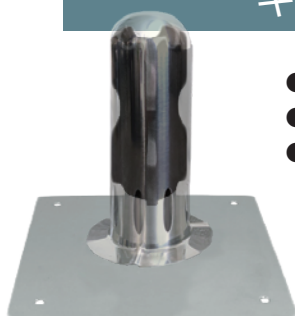


ユニオン脱気筒 TPO



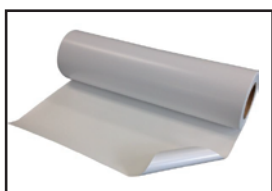
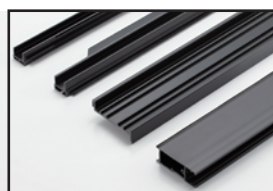
キャップ保持に TPO を採用した進化系脱気筒

- ユニオン脱気筒の脱気性能はそのままに、キャップ保持材としてTPO(オレフィン系熱可塑性エラストマー)を採用
- TPO 材の採用で、メンテナンス時の抜き差しでもキャップの保持力が均一
- キャップの保持力が高い為、施工状況に合わせたキャップの高さに調整可能。



品番	全高	キャップサイズ	中筒外径/内径	底板サイズ	キャップ保持材/形式
20080	178	Φ 60 × 178	Φ 42/ Φ 40.4	200 × 200	TPO/差込式

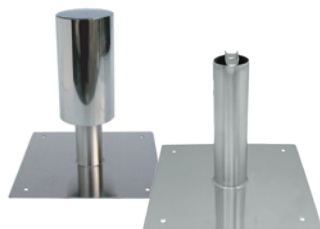
TPO (オレフィン系熱可塑性エラストマー) とは



- ・-60～100℃環境下での使用が可能です。高温下に晒しても塩ビのような硬度変化を起こしません。逆に低温下での使用でも硬くなりにくく、その弾性は変わりません。
- ・耐候性に優れ、長期間の屋外露出試験でも表面劣化を起こしません。
- ・熱可塑性樹脂であるためリサイクルが容易です。また、塩素を含んでいないためダイオキシンが発生しません。

SGK脱気筒 キャップ保持の変遷

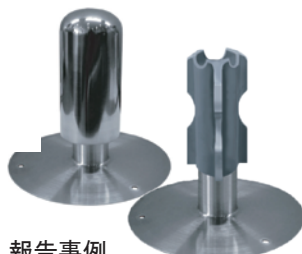
SUS 脱気筒 一般用 キャップ保持:ネジ



報告事例

- ・外部からの衝撃や振動によるネジの緩みによるキャップの脱落や紛失。
- ・ネジの緩みを想定した点検。
- ・キャップ取り付けの手間

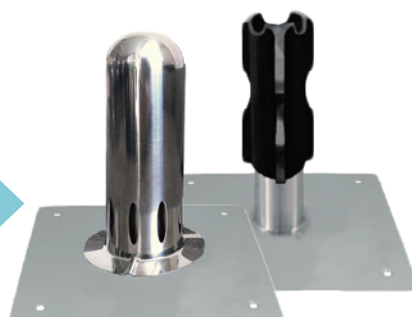
SUS 脱気筒 一般用丸形 キャップ保持:硬質塩ビ



報告事例

- ・キャップの保持力が高い為、キャップの抜き差しを繰り返すと保持力が弱まる可能性がある。

ユニオン脱気筒 TPO キャップ保持:TPO



- ・左記2商品の報告を受け、キャップの高い保持力、また抜き差しを繰り返しても高い保持力は変わらない